

ホタテガイ

分類：ウグイスガイ目イタヤガイ科 (翼形亜綱二枚貝綱)
 学名：*Patinopecten yessoensis*
 英名：Giant Ezo Scallop

樺太、千島、北海道、青森にかけての冷水域の小石混りの砂底の水深10~30mに生息する。殻はほぼ円形で、殻の合わせ目の部分に耳状の突起がある。左殻はやや平たく、右殻にはふくらみがある。殻の表面には放射状にのびた肋があって、肋の数は左の殻で13~31本、右殻で15~32本で、平均して各々20ないし22本である。二枚貝は巻貝と異なり、眼がないのが特徴であるが、ホタテガイ類には外套膜の縁に美しく青い玉のような眼や、糸のような触手の感覚器がみられる。同科のイタヤガイ (*Notovola albicans*) は殻の表面の放射肋が板ぶき屋根のようで、板屋貝とよばれ、肋の数は8~10本と少なく、分布域もやや南に偏する。イタヤガイ、ホタテガイ類にとってヒトデ類は大天敵である。



Chlamys nodosus
コブナデシコ



C. pallium
チサラガイ



C. pallium
チサラガイ



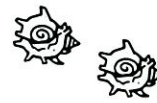
C. townsendi
タウンゼントニシキ



ホタテガイ



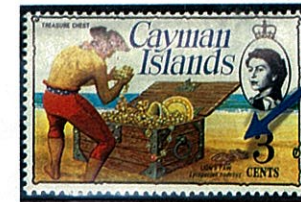
Pecten ziczac
イナズマイタヤガイ



ホタテガイ



Chlamys flabellum
ウチワニシキガイ



C. nodosus
コブナデシコ



C. muscosus
アザミヒヨク

